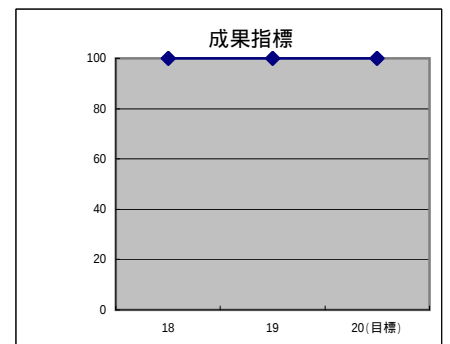
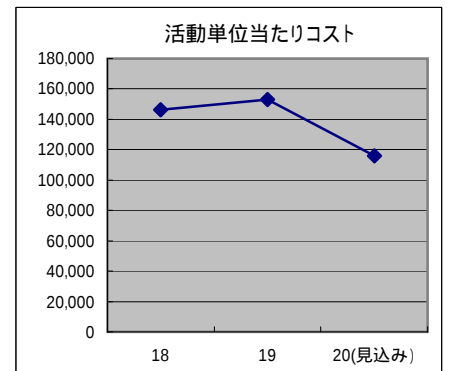


事務事業名		広域行政推進事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	5	企画費	
					事業	2	広域行政	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち					
	施策(節)	4	広域行政					
	施策の方向	(1)	広域行政の推進					
関連する計画等		第三次南河内地域広域行政圏計画			作成部署	市長公室政策推進課		
					連絡先	072 - 958 - 1111 内線 3511		
事業の目的								
対象(誰を・何を)								
広域的な行政課題								
意図(どういう状態にしたいのか)								
南河内地域広域行政圏における広域行政の課題を調査・研究し、より効率的な共同処理事務の推進を図る。								
南河内地域広域行政圏における広域行政の推進を図るため広域行政圏計画の策定及び今後の広域連携のあり方に関する調査研究を行い、実現化に向けた課題、今後の方向性の整理等を行う。								
事業の内容								
構成市町村(羽曳野市、松原市、藤井寺市、大阪狭山市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村)								
根拠法令等								
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 55 年 月開始 ☐ 明確にはわからない			終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化		平成17年2月美原町脱退(堺市に編入)						
市民や議会の要望								
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託	名称			委託内容		
		☐ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		410	407	395
人件費【2】 (千円)		1,344	1,428	1,344
職員数	正規職員	0.16 人	0.17 人	0.16 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		1,754	1,835	1,739
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	1,754	1,835	1,739
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
協議会・担当者会議等の開催 回		12	12	15
広域連携に関する調査 回		1	1	1
H P による情報発信 サイト		1	1	1
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		146,167 円	152,917 円	115,933 円
市民 1 人当たりコスト (【A】 / 人口)		15 円	15 円	15 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	式)	広域行政の推進(%)	南河内における課題について調査・研究することにより、効率的・効果的な施策の展開をめざす。	目標	100	100	達成率(%)
				実績	100	100	100.0%
	式)			目標			達成率(%)
				実績			

担当 部局 評価	総合評価
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	住民の日常生活圏の広がりや情報化の急速な進展などにより、市町村が取り組むべき課題は現在の市町村の枠を超えてますます広がっている。しかし、一方で、財政面で解決が困難な事務もある。広域的な視点からのまちづくりや行政課題の解決を考える必要性が高まる中、それぞれの行政区域を越えて共同で事務事業を行うことで、様々な行政サービスを効率的、効果的に行うことができる広域行政は重要な施策である。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 引き続き、様々な観点から、広域行政のあり方などを検討し、効率的な事務執行ができる事務等の検討を行っていく。